

IBE・ILAE共同声明 新型コロナウイルス（COVID-19）ワクチンとてんかんをもつ人

新型コロナウイルス（COVID-19）に対するワクチンが認可され接種可能となりつつあります。

てんかんをもつこと自体で、COVID-19ワクチンによる副作用リスクが高くなることを示唆する証拠はありません。てんかんをもつ人にとって、COVID-19感染および合併症による危険性は、COVID-19ワクチンの副作用の危険性をはるかに上回ります。しかし、他のワクチンと同様にCOVID-19ワクチンで発熱をきたすことはあります。そのため発作をきたしやすくなる可能性があります。解熱剤（カロナール/アセトアミノフェン）をワクチン接種後48時間に定期的（もしくは発熱期間）に内服することによりリスクを最小限にできるでしょう。

COVID-19ワクチン接種を受ける前には、ワクチン接種施行者にあなたがてんかんをもつことを知らせてください。以下のことも情報提供してください。

- ・アレルギー、特にワクチンに含まれる成分に対するアレルギー
- ・過去のワクチン接種時アレルギー反応（例 インフルエンザワクチン）
- ・最近もしくは現在の発熱および感染症
- ・治療中の全薬剤、特に免疫系を抑制する薬剤（例 免疫調節剤、免疫抑制剤）、抗凝固薬
- ・妊娠中、授乳中もしくは妊娠を計画中のとき

他のワクチンと同様に、ワクチン含有成分にアレルギーがある場合はCOVID-19ワクチンを受けるべきではありません。もし1回目の接種でアレルギー反応が出た場合、2回目の接種をうけるべきではありません。

すでにCOVID-19ワクチン接種を受けた人もマスク着用継続とソーシャルディスタンスは重要です。ワクチンにもよりますが、現在のワクチンはCOVID-19に感染するリスクを90%程度まで減少させることができます。しかし、ワクチン接種後にもCOVID-19に感染していることがわからないうちに、他人にウイルスを拡散すること可能性があります。

（日本語訳 日本てんかん学会ガイドライン委員会）

IBE-epilepsy.org

ILAE.org



COVID-19